

所沢市民文学講座（全6回）

「『太平記』と所沢」～新田氏と小手指原合戦～

中世の軍記文学作品である『太平記』に描かれた所沢にゆかりのある地、人物などの記述を通して、中世の所沢の様子を確認します。

鎌倉幕府の滅亡に際し、鎌倉攻撃を担った新田義貞の進軍ルートの途上にあつた所沢での戦闘の様子、また義貞の子息らによる武蔵野合戦の記述を読み解き、中世の所沢地域が『太平記』でどのように描かれていたかを探りましょう。

●日程と各回のテーマ

- 第1回：令和6年9月17日（火） 『太平記』と南北朝の争乱
- 第2回：同10月8日（火） 『太平記』における新田氏と足利氏
- 第3回：同11月12日（火） 『太平記』を読む～新田氏挙兵から鎌倉攻めまで
- 第4回：同12月10日（火） 『太平記』における観応の擾乱
- 第5回：令和7年1月14日（火） 『太平記』を読む～武蔵野合戦（1）
- 第6回：同2月4日（火） 『太平記』を読む～武蔵野合戦（2）

●時間： 毎回午後2時から4時まで（途中休憩あり）

●会場： 所沢まちづくりセンター中央公民館 学習室8・9号

（所沢市元町27番地5号 TEL：04-2926-9355）

●講師： 高橋 恵美子先生（武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部教授）



1972年生まれ。茨城県出身。日本女子大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士（文学）。日本中世史専門。

著書：『中世結城氏の家伝と軍記』（勉誠出版、2010年）

論文：「中世軍記史料における料紙表現－『平家物語』諸本を中心に」（湯山賢一編『古文書料紙論叢』、勉誠出版、2017年）、「家伝史料『結城軍記』諸本の相関関係－『小山記』『長沼日記』と対照して－」（松尾蘆江編『軍記物語講座第四巻 乱世を語りつぐ』、花鳥社、2020年）、「醍醐寺所蔵『野月』と松橋流秘点」（永村眞編『中世寺院の仏法と社会』、勉誠出版、2021年）

●参加費： 3,000円（6回分）

●定員： 60名（申込多数の場合は抽選）

●申込方法： 往復はがき（1人1枚）に、氏名、性別、住所、電話番号を記入のうえ、
7月20日まで 下記宛にお申込み下さい。（6回とも参加可能の方）

〒359-1162 所沢市和ヶ原2-200-24 佐藤 八郎

●お問い合わせ： 佐藤 八郎（サークル「漆の実」代表）TEL：04-2948-8247

●主催： サークル「漆の実」（文学に親しむサークル）

共催： 所沢まちづくりセンター中央公民館

●追記： 日帰りバス旅行について（所沢市補助金申請済）

高橋恵美子先生にもご一緒いただき、10月29日（火）に『太平記』ゆかりの地（群馬・栃木方面）を巡る旅を計画しています。参加者は45名を予定していますが、文学講座受講者を優先する予定です。行程、参加費等は確定次第ご案内させていただきます。